

# 和泉市特産品

## 和泉木綿

## ガラス工芸

## 人造真珠

### ●和泉木綿

大阪の泉州綿フス織物の起源は平安時代に弘法大師空海が遣唐使として唐より持ち帰った綿の種をこの地で蒔いたといわれ、木綿が日本人の衣生活に浸透した江戸時代より「和泉木綿」の名をもって知られるようになりました。

現代は、衣料用織物をはじめ寝装用、産業資材用、衛生材料用織物の他、小巾の白木綿など広範囲にわたる多岐多様の品種が製織され、海外市場への輸出や国内需要に対する素材供給基地として大きく躍進しています。

### ●人造真珠

和泉市の人造真珠の歴史は、明治中期にフランス製品を入手し研究をしたことから始まったといわれています。

長年に亘り培われ、独特の高度な技術により作られた人造真珠は、

「Pearl」の愛称で親しまれており、「I」は生産地和泉の「I」そして「愛」を表現しています。

和泉市内には全国の人造真珠生産業者8割が集中しており、世界の国々において日本の代表的なアクセサリとして知られています。

### ●ガラス工芸

和泉市では古くから細工加工に適した軟質ガラスを用いたガラス工芸が発達しています。加工方法は、まず、ガラスの棒素地をつくり、束ねたガラスの棒素地の先端を火力で溶かし、手加工によって動物や船、馬車等の置物類が作られています。長年の経験にみがかれた技術と研ぎ澄まされた感覚は、微妙な光の屈折を思うままに表現した味わい深い作品を生みだします。現代では、希少価値が高く、お部屋のアクセサリとして、趣味の生活用品として多くの愛好家の支持を得ています。